

南山大学広報誌

NANZAN

BULLETIN

vol.224
2023.6.30

特集

- 1 新副学長紹介
- 2 ライネルス中央図書館
リニューアルオープン



NANZAN
UNIVERSITY



2023年度からの副学長をご紹介します。

任期:2023年4月1日~2026年3月31日(3年間)



副学長
(総務担当・将来構想担当)
総合政策学部 教授
星野 昌裕

専攻分野
東アジア研究、国際政治学
長期研究テーマ
現代中国の民族問題に関する研究

2021年9月に南山大学は創立75周年を迎えました。ますます急速に変化し続ける社会環境、国際関係、教育メソッドなどを踏まえながら、世界で活躍できる人材を育成する高等教育機関としてより高い評価を得ることができるよう、みなさまとともに、創立100周年に向けた将来構想を考えていきたいと思っております。ご支援のほど、どうぞよろしくお願いいたします。



副学長
(学務担当)
法学部 教授
岡田 悦典

専攻分野
刑事訴訟法
長期研究テーマ
裁判員制度の諸問題、刑事裁判における準備手続の研究、刑事訴訟における弁護人の役割

南山大学は、Hominis Dignitati(人間の尊厳のために)を教育モットーとして、多種多様な人材が集い、学び、巣立つ場所として発展してきました。大学は、激変する現在においても、学生がこのモットーの下で充実したカリキュラムから学び、課外活動やキャリア形成に励み、社会へと羽ばたく活気ある場所として、輝いていくことが何より重要です。私は学務担当として、その発展のために尽力していきます。



副学長
(研究推進担当・教育支援担当)
人文学部 教授・
社会倫理研究所第一種研究所員
奥田 太郎

専攻分野
哲学、倫理学、応用倫理学
長期研究テーマ
倫理学の諸問題に関する多層的考察

大学生は生徒ではなく学生です。最初の授業で必ずそう伝えていきます。大学に入学したその日から、学生の皆さんは研究チーム南山の一員です。授業を通じて書いたその文章の一つ一つもまた、学術の歴史に足跡を刻んでいると想像してみてください。南山の教員と学生の紡ぐ言葉が世界の未来を拓くことに繋がっていく。そんなイメージを抱けるような探究の場を醸成していきたいと考えています。



副学長
(グローバル化推進担当)
国際教養学部 教授
山岸 敬和

専攻分野
政治学
長期研究テーマ
政策過程研究

なぜ大谷翔平選手はWBCであれほど堂々とプレーができていたのでしょうか?それは、若いうちに環境が大きく異なる米大リーグに理想を追って挑戦し、たくさんの失敗を積み重ねたからだだと思います。できるだけ多くの学生にも、新たな挑戦を続け困難を克服する中で、確固とした自信を身につけてもらいたいです。そのために、南山大学のキャンパス内外で行われる国際教育を進化させていきたいと考えています。

ライネルス中央図書館 リニューアルオープン

Reiners Central Library *Renewal Open*



4月1日に南山学園の創業者ヨゼフ・ライネルス師の名前を冠した「南山大学ライネルス中央図書館」としてリニューアルオープンしました。

「であう」「つながる」「かわる」をコンセプトに、用途に合わせてゾーニングされた館内は利用しやすくなり、1階エントランスラウンジには、ヨゼフ・ライネルス師の足跡を辿る展示やレーモンド建築に関する展示が常設され、南山学園の建学の精神に触れることができます。

前庭は、同窓会からのご寄附によりアルムナイガーデン(芝生広場)として整備されました。



Ceremony

オープンに先駆けて、3月31日には記念式典が開催されました。



図書館の公式キャラクター
南図の三博士も
ヨロシク!



2023.3.20

2022年度学生部長表彰式

3月20日、2022年度学生部長表彰式を開催しました。学生部長表彰は、個人もしくは団体が課外活動において特に優れた成績をおさめたとき、または課外活動に著しく貢献したとき、特に顕著な善行を認められたときに授与されます。

今年度は、個人15名と9団体に賞が授与されました。



▲吉田敦学生部長より表彰状が授与されました

2023.3.20

2022年度 学長表彰

卒業予定者のうち品行方正で、学業あるいは課外活動で特に優れた成績を修めた学生、または特に顕著な善行が在学中継続した学生30名に、その努力と栄誉を称え、学長から表彰盾を授与しました。

【人文学部】	7名
【法学部】	3名
【外国語学部】	6名
【総合政策学部】	3名
【経済学部】	3名
【理工学部】	3名
【経営学部】	3名
【国際教養学部】	2名



▲学長より表彰状が授与されました

2023.3.20

「南山大学国際教養学部・株式会社極東精機給付奨学金」学修成果報告会

「南山大学国際教養学部・株式会社極東精機給付奨学金」は、株式会社極東精機様（以下、極東精機）からのご支援を原資とし、国際教養学部で学ぶ東南アジアおよび南西アジアからの外国人留学生に対し給付する奨学金です。

3月20日、奨学生に採用された留学生3名による学修成果報告会が極東精機本社で行われました。それぞれ自己紹介を交え、この1年で学んだことや日頃の学生生活、自分の研究テーマ等について報告しました。報告後には、活発な質疑応答が行われ、極東精機北野社長からは、「学んだ成果は国内にとどまらず、広く世界に還元してほしい」とのお言葉を頂きました。また、当日は工場見学も実施され、極東精機の社員の皆様と交流する機会もありました。



▲学修成果発表会の様子



▲左から：森山幹弘国際教養学部長、Hoang Tuyet Maiさん、Do Ngan Haさん、Prasetyo Anggi Mellrose Angraeniさん、北野毅社長

2023.3.21

2022年度卒業式

3月21日、2022年度卒業式を行い、1,919名（学部生1,855名、大学院生64名）の卒業生を送り出しました。

今年度は新型コロナウイルス感染症対策も緩和され、マスク着用の義務をなくし実施しました。

式典では中部地区を含む西日本で唯一のカトリック総合大学である本学らしく、式典では「卒業感謝の祈り」として司祭による聖書朗読、各学部の代表学生による共同祈願などとともに学位記授与式が行われ、会場は厳粛な雰囲気にも包まれました。当日はインターネット（YouTube Live）で卒業式の模様を同時中継しました。



▲卒業式の様子

2023.3.22

南山チャレンジプロジェクト活動報告会

3月22日、2022年度南山チャレンジプロジェクト活動報告会を実施しました。「南山チャレンジプロジェクト」は学生による学内を活性化させる企画や地域との交流、国際交流などを推進する取り組みを大学として支援し、学生の成長につながる多様な機会を創出することを目的としています。

採択された以下の4団体が、1年の活動を振り返り、実施した企画や、活動の中で生じた困難な状況をどのように乗り越え、何を学んだかを発表しました。
・Activate NRL、Healing Lab.、Nanzanチャリティコンサート有志団体、南山大学石器研究グループ



▲報告会で発表をするActivate NRLの学生

2023.3.31-2023.4.4

フレッシュマン祭

3月31日から4月4日までの4日間、フレッシュマン祭を開催しました。

新入生向けにクラブ・サークル紹介をするため、今年は約60団体がキャンパス内でチラシの配布やブース相談、教室やフラスコホール、体育館、グリーンエリア等でのイベントを実施しました。



▲メインストリートの様子

2023.4.1

2023年度入学式

4月1日、2023年度入学式を行い、2,404名（学部生2,334名、大学院生70名）の入学者を迎えました。

ロバート・キサラ学長は告辞において、「これからの4年間の在学期間中、地球規模の関心を深め、自分独自の貢献、自分であるからこそできる貢献を見出してください。」とメッセージを贈りました。

当日はインターネット（YouTube Live）で入学式の模様を同時中継しました。



▲入学式の様子

経営学部川北ゼミの学生が「第22回東三河ビジネスプランコンテスト」で特別賞を受賞

2023年1月24日に開催された、株式会社サイエンス・クリエイティブ主催の「第22回東三河ビジネスプランコンテスト」で、経営学部川北ゼミ3年生(受賞当時)の学生3名が、応募総数116件の中から特別賞を受賞しました。

このコンテストは、地域経済活性化をめざし、東三河地域を中心とした起業家精神旺盛なベンチャー企業および創業を予定する個人・法人からビジネスプランを公募し、選考の上、投資家支援・専門家支援・施設支援等多方面のフォローアップを通じて、そのビジネスプランの具現化

を支援することを目的として開催されています。

特別賞を受賞した3名は、「ピタッと寄り添い、伝わる想い」をコンセプトとして、障がい者の方々と周囲の人とのコミュニケーションを声を出さなくても可能にする製品『助かるルンダー』について発表しました。この商品はヘルプマークに追加して身につけるもので、伝えたいことを2種類書き込み場面に応じて見せる面を変え、視覚的コミュニケーションを可能にします。



▲左から:近藤千夏さん、越中大斗さん、伊東佑里子さん



▲左:助かるルンダー ▲助かるルンダー使用例

理工学部ソフトウェア工学科の学生が、日本ソフトウェア科学会第9回 実践的IT教育シンポジウム rePiT2023で最優秀論文賞を受賞

2023年2月4日、5日に公立はこだて未来大学でオンラインとのハイブリッド開催された日本ソフトウェア科学会 実践的IT教育研究会主催 第9回 実践的IT教育シンポジウム(rePiT2023)で、理工学部ソフトウェア工学科4年(学会参加時)名倉研究室所属の近藤亮太さんが最優秀論文賞を受賞しました。

このシンポジウムは、実践的な情報教育に関するカリキュラムの設計、取り組みの現状等、実践的なIT教育に

関するトピックを広く議論し共有するためのシンポジウムで、毎年開催されています。

近藤さんの論文「コンパイルエラーメッセージの分類に基づく初学者へのプログラミング学習支援手法」の研究概要は、初学者によるコンパイルエラーの除去作業を支援することを目的に、コンパイルエラー発生時にエラーメッセージをその原因により分類して提示する手法を提案するものです。



▲左:近藤亮太さん 右:名倉先生

木下 登名誉教授がスペイン国王フェリペ六世より「賢王アルフォンソ十世勲章十字章」を受章

2023年3月2日に駐日スペイン大使館大使公邸(東京都港区)にて叙勲伝達式が行われました。

スペイン国の文化勲章である「賢王アルフォンソ十世勲章十字章」(Cruz de Alfonso X El Sabio)は、教育、科学、文化、研究において多大な貢献を行ったスペイン人または外国人に授与されるものです。木下 登名誉教授は、日本イスパニヤ学会

長、日本・スペイン・ラテンアメリカ学会長などを歴任され、スペイン国立インスティトゥト・セルバンテス学術機構 CÁTEDRA 名誉顧問、公益財団法人日本スペイン協会代表理事、日本サラマンカ大学友の会常務理事の要職に就くなど、半世紀にわたり日本とスペインの学術・文化交流促進に傑出した功績があったことが高く評価され、今回の受章となりました。



▲受章挨拶



▲木下 登名誉教授 (撮影 森井英二郎)



▲勲章受章

法学部が「2022年度法学検定試験」団体賞合格率の部スタンダード(中級)コースで2位、学生2名が成績優秀者として表彰

法学部法律学科が、「2022年度法学検定試験」団体賞合格率の部スタンダード(中級)コースで2位になりました。3月6日には「2022年度法学検定試験表彰式」が行われ、法学部法律学科3年(参加時)白崎絢音さんと2年(参加時)毛利英暉さんが成績優秀者として表彰されました。

「法学検定試験」は、公益財団法人日弁連法務研究財団と公益社団法人商事法務研究会が共同で組織した法学検定試験委員会が実施している、法学に関する学力を客観的に評価する、日本で唯一の全国規模の検定試験です。



▲左:毛利英暉さん 右:白崎絢音さん

総合政策学部澁谷ゼミの学生が「第1回 今後の社会資本のあり方に関する懸賞論文」学生部門で佳作入選

一般財団法人国土技術研究センター主催の「第1回 今後の社会資本のあり方に関する懸賞論文」学生部門で、総合政策学部澁谷ゼミ3年生(入選時)の学生5名が発表した論文「社会資本老朽化の地域格差」が、佳作に入選しました。

この懸賞論文は、2017年と2021年に実施した「社会資本に関するインターネット調査」の結果を活用して、今後の社会資本整備のあり方や論点などを明らかにされることを期待して行われました。



▲入選した澁谷ゼミのみなさん (左から:大竹さん、奥村さん、上野さん、大野さん、田中さん)

「南山大学国際教養学部・株式会社極東精機給付奨学金」授与式

「南山大学国際教養学部・株式会社極東精機給付奨学金」は、株式会社極東精機様からのご支援を原資とし、国際教養学部で学ぶ東南アジアおよび南西アジアからの外国人留学生に対し給付する奨学金です。母国を離れて日々懸命に学ぶ外国人留学生の学業達成を援助し、留学生の母

国と日本との友好・親善に貢献する有為の人材を育成することを目的とし、2022年度に創設されました。

今年度は4月19日に授与式を開催し、選ばれた学生3名には、森山学部長から奨学金についての説明を受けた後、採用通知書が手渡されました。



▲授与式の様子

Special Events Schedule

2023.7.7-2023.7.9

第64回上南戦

7月7日から7月9日の3日間にわたり、第64回上南戦(上智大学・南山大学総合対抗運動競技大会)本戦を上智大学で開催する予定です。今年のスローガンは“Advance”です。「4年ぶりの上智大学開催の上南戦で、勝利する勢いで戦いに挑む」という強い想いが込められています。ぜひ応援をよろしくお願いします。



▲昨年の上南戦の様子

2023.7.13

ゆかたフェス

7月13日に、第7回南山ゆかたフェスを開催予定です。南山ゆかたフェスは、浴衣を着ることで日本文化に親しんでもらうことや、学内に交流の場を増やすことを目的とした参加型のイベントです。浴衣の販売や無料着付けだけではなく、緑日企画、プロカメラマンによる撮影等も予定しています。ぜひご参加ください。

7月15日には、昨年引き続き「南山ゆかたフェス×松坂屋コラボファッション



▲昨年のゆかたフェスの様子

ショー」を松坂屋にて開催予定です。またその中で今年度は、ジャズ研究部 N.A.Q.による演奏も予定しています。学生によるアレンジした着付けをぜひ見に来てください。

2023.7.15-2023.7.16

オープンキャンパス

今年のオープンキャンパスは、7月15日(土)、16日(日)に大学開催型を、8月1日(火)にオンライン開催型を予定しています。オープンキャンパス当日は模擬授業や学部・学科説明、個別相談コーナー、在学生によるキャンパスツアー等の企画を用意しております。ぜひご参加ください。

オープンキャンパスの一部企画への参加は申込制となります。詳細は大学Webページ「受験生の皆様」をご確認ください。
<https://www.nanzan-u.ac.jp/admission/opencampus/>



2023.9.30

保護者の集い

9月30日(土)に、保護者の集いを開催します。学部生保護者の皆様に対し、本学における教育・研究をはじめ、留学や就職支援に関する取り組みについてご説明させていただく機会となっております。

※詳細は8月下旬に保証人様宛に送付する案内文書でご確認ください。

南山チャレンジプロジェクト 産学連携企画型活動報告

REPORT

ポン菓子を製造販売する家田製菓株式会社(以下、家田製菓)の代表取締役社長 家田馨子氏と小野内弥生氏が、3月17日にキサラ学長を表敬訪問されました。

2020年から南山チャレンジプロジェクト(以下、南チャレ)産学連携企画型として活動を行ってきた報告のため、南チャレメンバーの人文学部人類文化学科3年(訪問時) 加藤杏さんと、顧問の人文学部 石原美奈子教授も同席し、これまでの活動について学長に説明しました。

南チャレでは、日本の食文化を活用して、エ

チオピアで新たなビジネスモデルを作ること雇用機会を創出し、社会貢献につなげることを目標としていました。実際に学生がエチオピアに渡航して現地の穀物を利用したポン菓子の製造を現地の人々に指導し、普及の一步とする予定でしたが、コロナ禍で実現できず、計画の変更を余儀なくされました。

そこで、家田製菓と協議し、国内でポン菓子商品を独自に開発して販売し、その収益で穀物膨張機を購入し、それを現地に送ることにしました。商品開発には参加学生たちが関わり、家田製菓で製造・包装を行いました。ゆかたフェスや

大学祭など学内でのイベントで、キッチンカーによる実演・販売を実施、愛知県内の小売店やイベントで学生が考案し商品開発したポン菓子を販売などして収益を得て、穀物膨張機を1台購入することができました。

購入した穀物膨張機は、エチオピアの障がい者職業訓練センターに寄贈し、障がい者がその機械を使ってポン菓子を製造販売することで収入を得ることができるようになり、雇用機会を創出し社会貢献につなげるという当初の目標を達成することができました。



▲左から:表敬訪問された家田製菓 小野内氏、家田代表取締役社長、キサラ学長、人文学部 加藤さん、人文学部 石原教授



▲寄贈した穀物膨張機



▲学内で実演販売の様子

私の研究



吉澤英樹 (よしざわ ひでき)
 外国語学部 フランス学科 教授
 専攻分野: 20世紀フランス語圏文学・文化
 最近の研究テーマ: 1930年代フランスにおける文学の機能と近接分野との関係性の解明。
 主な担当科目: フランス語圏研究、フランス文学史、フランス文化特殊講義

野との関係性から「フランス」や「文学」の機能やその変化を再考する作業を進めています。

日本人の研究者である私は「フランス」に対して「他者」であると言えますが、いったん専門家となってしまうと、その視点を持ち続けることは難しいものです。そのため、文化人類学や美学・美術史、英米文学などその都度地域や専門の異なる研究者と協力し、研究することを心がけるようにしています。異文化との接触を通して再構成されるフランスの文化的アイデンティティに関する研究成果をいくつか残しましたが、共同研究を通して自身の研究方法も大きく変わった気がします。対象を研究するためには、「他者」の視点を持つことと同時に「他者」の協働も欠かせないものではないでしょうか。外国語学部の教員としても、このような姿勢を日々の学びの場において学生と共有したいと思っています。



▲フランスで出版された共編著論集



▲共同研究者たちとワークショップ後の農作業のひとつ

「他者」から見つめ直す風景

私は20世紀のフランス語圏の文学と文化を専門としています。とりわけ兩次大戦間のモダニズム文化に関心があります。人々の「かつてないもの」へ希求が西欧近代世界に対する否定と肯定のせめぎ合いの中で、自明のものと考えられていたさまざまな価値観の問い直しを呼び込み、新しい文化を生み出した時代であったからです。元々私はフランス文学という狭い枠組みの中で研究をしていたのですが、次第に研究対象に導かれる形で、現在ではより広い地域と隣接する学問分

私のクラス



伊東留美 (いとう るみ)
 人文学部 心理人間学 准教授
 専攻分野: アートセラピー・臨床心理学
 研究テーマ: アートとスピリチュアリティ、美術活動における瞑想的側面について、(アートベース・リサーチを用いた研究)
 主な担当科目: 心理学A・B、美術A・B、芸術をめぐって

Art is a way of knowing: 知る技法としてのアート

私の専門分野は、臨床心理学の中でも特に視覚的芸術(美術活動)を用いた芸術療法という領域です。そんな背景もあり、共通教育科目の「心理学A・B」や「美術A・B」「芸術をめぐって」を担当しています。

私がこれらの授業で大切にしていることは、「学生の創造性と想像力を育むこと」です。この二つの能力は、周囲の評価や正解にこだわり過ぎると発揮されなくなるようです。そのため、「美術A・B」の授業で作品鑑賞をする時は、正解を考えるのではなく、自分がどう感じるのか、どう捉えるのか、また、作品から作者は何を伝えようとしているのかを想像することから始めるよう伝えています。また、学生が制作した作品も同じように、上手い下

手や正しい間違いで評価せず、どのような意図で作られたかに関心を持つよう伝えています。学生が「同じ視点でも(芸術的に)表現するとこんなに違う」とコメントするように、私たち一人ひとりの創造性や想像力は十人十色であり、味わい深いものを持っています。若い学生たちの感性に、私はよい意味での驚きと希望を感じます。

また、タイトルにある“Art is a way of knowing”はアートセラピストであるPat. B. Allenの本のタイトルです。芸術は知る探求をする私たちのナビゲーター役にもなってくれます。アートは様々な情報(知)を美しいフォルムの中に統合し内包しています。知が詰まったアートを読み解くためには「私は作品をどうみるか」という態度が関わっており、その先には「そう感じる私は一体何者か」という自身に対する問いがあります。

「自分らしさとしての創造性と想像力」でユニークな知の体験をしてほしいと願っています。

キャリア支援課プログラム紹介

キャリア支援課では毎年多彩なプログラムを実施しています。「キャリアサポートプログラム」は、特に低年次生の参加を推奨していますが、すべての学年の方が参加可能です。また、学部3年次生と大学院修士1年次生向けには、「就職支援プログラム」を実施します。学生の皆さんは、積極的に参加してください。

キャリアサポートプログラム

学部・学科別学び方講座(1年次生対象)

4月から5月にかけて、新入生対象の「学び方講座」を実施しました。各学科の教員から大学での授業の進め方や卒業後の進路などの説明をうけ、学生は自らの大学生活での具体的な目標や課題設定を行いました。

希望進路別ガイダンス

【就職(民間)、就職(公務)、進学(文系)、進学(理系)】

4月から5月にかけて、1・2年次生を対象に希望進路の実現に向けて大学生活をどう過ごすかを考えるための講座を実施しました。4回に分けて行われた「希望進路別ガイダンス」では、南山大生の進路実績や南山大学の支援体制のほか、学内外の講師を招き、幅広い情報提供を行いました。

インターンシップサポート

【学内インターンシップ企業研究会】

6月に、上場企業や人気企業を中心に約50社が南山生のみを対象に説明会を実施しました。学生はインターンシップ等に向けて企業研究や仕事研究を行いました。

卒業生に聞いてみよう!

1月には、各界で活躍する卒業生をお招きし、社会人としてのやりがいや生きがい・学生時代の体験等を伺う講座を実施します。

★第3クォーターには、実践・体験プログラムで自らの適性・強み・弱点を知る「テーマ別ワークショップ」や、業界・職種について理解を深める「業界・職種研究会」など多彩なプログラムを予定しています。

就職支援プログラム (主に学部3年次生・修士1年次生対象)

4月に就職ガイダンスを実施し、就職活動への心構えや就職支援プログラムのスケジュール等を確認しました。今後は講座やワークショップ等で、インターンシップや本選考に向けて具体的な準備を進めていきます。キャリア支援課では、事前予約制で個別面談を実施していますので、学生の皆さんはぜひ活用してください。

【9・10月の予定】行事の詳細および11月以降の予定はWebページまたはPORTAに掲載します。

プログラム名	文系	プログラム名	理系
第2回就職ガイダンス*	9月20日(水) 27日(水)	第2回就職・進学ガイダンス	9月20日(水)
就職対策講座1 【自己理解・自己PR】	10月4日(水)	就職対策講座1 【ESの書き方】	10月4日(水)
就職対策講座2 【業界・企業研究】	10月11日(水)	就職対策講座2 【自己理解・自己PR】	10月11日(水)
就職対策講座3 【志望動機・ESの書き方】	10月18日(水)	就職対策講座3 【業界職種研究・志望動機】	10月18日(水)
就職対策講座4 【筆記試験対策】	10月25日(水)	就職対策講座4 【筆記試験対策】	10月25日(水)

※学部により実施日が異なります。

<https://office.nanzan-u.ac.jp/CAREER/index.html>



卒業後の進路が決まった学生の皆さんへお願い

「進路届」の提出および「就職活動体験記」へのご協力をお願いいたします。「進路届」は進路が決まった時点で、全員提出が必要です。また、体験記は後輩の皆さんにとって何物にも代えがたい貴重な資料となりますので、ぜひご協力ください。

「進路届」は、キャリア支援課(Q棟2階)窓口もしくはPORTAアンケートにてご回答ください。また「就職活動体験記」作成要領およびフォーマットは下記Webページからダウンロードできます。

<https://office.nanzan-u.ac.jp/CAREER/news/009291.html>



■ 名誉教授称号授与

次の3名の教授に対しその功績を称え、2023年4月1日付で名誉教授の称号を授与しました。

- 法学部
副田隆重 教授
- 人文学部
西江清高 教授
- 外国語学部
PURCELL, William 教授



▲前列左:副田隆重 教授、前列右:西江清高 教授

▲前列左:PURCELL, William教授

■ 寄附者ご芳名

「南山大学教育研究支援」へのご協力に感謝いたします。

- | | |
|------------|-------------------|
| 長坂 裕 様 | 南山大学後援会 様 |
| 匿名ご希望者 2名様 | 磯部運輸倉庫株式会社 様 |
| | 宗教法法人カトリック神言修道会 様 |
| | 株式会社極東精機 |
| | 代表取締役 北野 毅 様 |
| | 物質文化研究会 |
| | 代表 後藤 明 様 |

「新型コロナ対策学生応援募金」へのご協力に感謝いたします。

- | | | |
|-------|--------|------------|
| 前田尚彦様 | 守屋友江様 | 匿名ご希望者 2名様 |
| 松井啓吾様 | 武田ミエ子様 | |

「南山大学創立75周年記念募金」へのご協力に感謝いたします。

- | | | |
|--------|-------|------------|
| 松井啓吾様 | 武田正博様 | 石川理恵様 |
| 太田達也様 | 佐野恵子様 | 松岳大樹様 |
| 加藤富美様 | 大参義卓様 | 永井恭子様 |
| 後藤眞貴子様 | 中村洋子様 | 匿名ご希望者 6名様 |
| 鈴木真一様 | 佐渡 茂様 | |
| 澤田幸世様 | 富田修造様 | |

「南山大学博士後期課程奨学支援募金」へのご協力に感謝いたします。

- 匿名ご希望者 1名様

■ 退職

2023年3月31日付

- 人文学部
教授 西江清高
教授 後藤 明
講師 ABRAHAM, Joy Plathottathil
- 外国語学部
教授 PURCELL, William
教授 山辺省太
教授 浅香幸枝
教授 泉水浩隆
- 経済学部
教授 焼田 党
- 総合政策学部
教授 井上 洋

- 法学部
教授 副田隆重
- 法務研究科
教授 倉持孝司
教授 洞澤秀雄
- 国際センター
特別任用講師 藤掛千絵
特別任用講師 山田貴将
- 外国語教育センター
教授 KLUGE David E.
教授 丹羽牧代
語学講師(LI) 都築千絵
語学講師(LI) LEAR, Christopher Adam

■ 新任教員紹介

2023年4月1日付

- 人文学部
教授 石川岳彦
(専攻分野:中国考古学、東洋史)
- 教授 中西美和
(専攻分野:臨床心理学、人間性心理学、グループアプローチ)
- 准教授 袴田 涉
(専攻分野:古代キリスト教史、教父学、宗教学)
- 准教授 DANCAR, Aleksander
(専攻分野:基礎神学、組織神学)
- 外国語学部
講師 COCHRANE, Robert
(専攻分野:英語教育)
- 講師 額田有美
(専攻分野:ラテンアメリカ地域研究、先住民学、共生学)
- 経済学部
准教授 前林紀孝
(専攻分野:マクロ経済学、経済成長論、財政学、公共経済学)
- 経営学部
教授 野口晃弘
(専攻分野:財務会計論、国際会計論)
- 法学部
准教授 中田裕子
(専攻分野:英米法、比較法)
- 総合政策
教授 茂木康俊
(専攻分野:行政学)
- 理工学部
教授 潮 敏光
(専攻分野:システム理論、非線形理論)

- 国際教養学部
准教授 南 祐三
(専攻分野:フランス史)
- 准教授 BURCH, Alfred Rue
(専攻分野:英語教育、応用言語学)
- 法務研究科
教授 實原隆志
(専攻分野:憲法、情報法)
- 外国語教育センター-英語教育部門
語学講師(LI) LOTT, Danielle
(専攻分野:Learner Autonomy, Educational Technology, Teacher Development.)
- 語学講師(LI) ZONI UPTON, Jessica
(専攻分野:英語教育)
- 語学講師(LI) MILLER, Adam Lee
(専攻分野:Film Studies)
- 体育教育センター
講師 伊藤 奨
(専攻分野:コーチング学)
- 保健センター
特別任用教育職員 伊藤萌水
(専攻分野:臨床心理学)
- 南山宗教文化研究所
准教授 MCMULLEN, Matthew
(専攻分野:仏教学、日本宗教)
- 助教 UGORETZ, Kaitlyn
(専攻分野:宗教学、日本文化研究)

■ 本学名誉教授 栗村道夫氏がご逝去

本学名誉教授の栗村道夫氏(91歳)が、2023年3月23日にご逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。

■ 本学名誉教授 山本和義氏がご逝去

本学名誉教授の山本和義氏(87歳)が、2023年4月21日にご逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。

■ イースターミサ@NANZAN

4月14日に神言神学院 大聖堂にて、イースターミサ@NANZANが初めて開催されました。イースターは、主イエス・キリストの復活のお祝いです。厳かな雰囲気の中、聖歌隊 南山大学スコラ・カントールムと参加者で賛歌をささげ、主司式を務められた学長の説教を聞き、本学で学ぶ学生、働く教職員がお互いのために祈りました。



▲イースターミサの様子

■ エクステンションカレッジ 公開講演会

3月25日に建築家 安藤忠雄氏をお迎えし、「可能性を自分でつくれ」という演題で講演会が行われました。当日は多くの方が安藤氏の講演に耳をかたむけていました。



▲安藤忠雄氏

本学では、学生の活動などをWebページ「南山TODAY」、Instagram、Facebookでも紹介しています。ぜひご覧ください。

南山TODAY



Instagram



Facebook



南山大学

発行 広報・募金課 / 〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18 Phone: 052-832-3113(直通)
E-mail: pr-gaku@nanzan-u.ac.jp https://www.nanzan-u.ac.jp/